

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立姫里	学校	児童数	73
--------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.54	18.87	41.08	38.76	43.34	9.89	136.51	20.87	51.69
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.55	16.03	43.82	37.91	30.97	10.30	127.03	11.33	51.90
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

今年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から、本校児童と大阪市および全国の児童平均と比較すると、種目によっては市平均・全国平均より上回っているものもあるが、半数以上が下回る結果となった。体力合計点については、男子は市平均は上回っていたが、全国平均を下回る結果となった。女子は市平均・全国平均ともに下回る結果となった。

児童への質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」で「好き」と回答をした割合は男子は市平均・全国平均とともに上回っていたが、女子は市平均・全国平均を大きく下回る結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、各学期に1回「体力向上週間」を定めている。1学期は体つくり運動、2学期はかけあし週間、3学期はなわとび週間を実施してきた。各学年それぞれ「がんばりカード」を作成し、休み時間にも取り組み、記録を残し、自分の能力の伸びを自覚し、目標を設定しながら取り組んできた。

アンケートの「1週間の総運動時間が60分未満」の児童の割合に関して、男女とも市平均・全国平均を上回っていることから、体を動かすことに対して消極的になっている児童を減らす必要がある。

また、『体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで「できたり、わかったり」することができますか。』の質問項目では、市平均・全国平均より大きく下回っている。これらの課題として、体育科の学習でタブレットの活用を高めることで、児童の「できたり、わかったり」する活動が増えるように取り組んでいく。